

# 低温やけどに注意

## 低温やけどについて

低温やけどは、心地よく感じる程度（体温より少し暖かい温度）のものでも、皮膚の同じ部分が長い時間接触していると発生するやけどです。熱いものに接触している皮膚の温度とやけどになるまでの時間はおよそ次のとおりです。

44°Cでは3時間から4時間  
46°Cでは30分から1時間  
50°Cでは2分から3分

（出典：山田幸生、「製品と安全第72号」低温やけどについて、製品安全協会）

## 低温やけどを防ぐために

### 布団から出して使用する

布団が暖まったら、ゆたんぽを布団から取り出して就寝すると、低温やけどの危険性はありません。このような使い方をおすすめします。

### ゆたんぽの低温やけど対策用品を使う

低温やけど対策用品が市販されている場合には、それらを使うと低温やけどの防止には効果的です。

### 一定時間ごとにゆたんぽの位置を変える

保護者や介護者など周囲の方がいる場合は、身体の同じ部位に触れ続けないよう、時々、ゆたんぽの位置を変えてあげてください。

### 厚手のタオルや布で包む

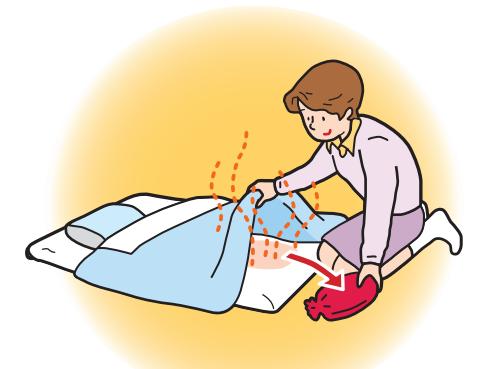
必ずしも低温やけどの防止には効果がありませんが、付属や市販しているゆたんぽカバーを使用し、その上から厚手のバスタオルや布で包むと、表面温度が下がるため、低温やけどを生じるまでの時間は長くなります。

低温やけどは皮膚の深いところまで達することがあります。万が一、低温やけど（皮膚の変色や痛み）が起きたときには、すぐに専門医の診断を受けてください。

### ■周囲の方が注意を要する使用者

- 乳幼児、お年寄り、ご病人
- 身体に障害をお持ちの方
- 疲労の激しい方、お酒に酔われた方
- 眠気を誘う薬を服用された方
- ペットなど

ご使用前に、反対面の「湯たんぽの使用上の注意」も必ずお読みの上、本紙を保管ください。



## はじめて「湯たんぽ」をお使いになるかたへ

### 使いかた

- 1 キャップを外す。
- 2 お湯をネジの口元一杯まで入れる。
  - お湯が冷めた時に起きる変形を防ぎます。
- 3 キャップを締める。
  - ゴムパッキンは必ず装着する。
- 4 必ず専用袋・毛布・タオルなど厚めの布で包む。
- 5 キャップを上にして、フトンに入れる。
- 6 使用後、フトンから取り出しお湯を捨てる。
- 7 内部を乾燥させて保管する。

●買い替えの目安は3年です。／長期間ご使用されると、材質の劣化が進み思わぬ事故の原因となります。



### 使用上の注意

ご使用前に、反対面の「低温やけどに注意」も必ずお読みの上、本書を保管ください。

ご使用前に	●キャップにはパッキンを必ず装着してご使用ください。
	●パッキンは時々点検し、亀裂などがある場合は交換してください。
	●漏れがないことをご確認の上ご使用ください。漏れが生じた場合は使用しないでください。
ご使用時に	●注湯時はやけどに十分注意し、湯があふれても安全な場所（キッチン・洗面台のシンクなど）で行ってください。
	●湯は必ず口元まで入れてご使用ください。湯の量が少ないと、本体の変形・亀裂などが生じる場合があります。
	●直接火にかけないでください。溶解・引火の危険があります。
やけどやケガを負う危険があります。	●電子レンジには使用できません。
	●キャップは確実に締め、漏れないことを確認してください。
	●キャップを「締めつけ過ぎ」ないようご注意ください。パッキンを傷める原因となります。 ◆お湯の熱で軟らかくなったパッキンが、キャップの「締めつけ過ぎ」を起こします。
ご使用後に	●必ず専用袋・毛布・タオルなど厚めの布で包んでご使用ください。 ◆ファスナータイプの専用袋をご使用の場合、ファスナーの引き具は足から遠い位置にしてください。
	●必ず、キャップを上方向にしてご使用ください。使用時に何等かの衝撃でキャップがゆるみ、漏れる恐れがあります。
	●上に乗ったり、重いものを載せたり、強い衝撃を与えないでください。
ご使用後に	●少ない湯量でご使用になって変形した場合、熱湯を口元一杯まで入れるとほぼ元の形に戻ります。
	●火や熱源のそばに置かないでください。変形・溶解の原因となり、使用できなくなる場合があります。
	●使用した湯は絶対に飲まないでください。
注意	●お手入れの際、たわしやみがき粉を使用すると表面に傷がつくことがあります。
	●長期間使用されない場合には、本体内の水を切り屋内の冷暗所で保管してください。
	●直射日光や風の当たる場所に放置しないでください。材質の劣化を早めます。



北陸土井工業株式会社

◆お客様ご相談窓口 TEL.0776-66-3334

〒919-0512 福井県坂井市坂井町宮領51-25-1

こんなとき… ???

Q 熱湯を入れてもいいの？

A. ふつとう直後の熱湯を入れても、問題なくご使用いただけます。

Q. 冷めたら、本体がへこんでしまった。

A. 熱湯をネジの口元一杯まで入れると、元の形状近くまで戻ります。

Q. 使用したお湯は？

A. 使用したお湯は、絶対に飲まないでください。

Q. シーズン後の保管は？

A. 本体内部を乾かした後、屋内（冷暗所）で保管してください。